

タイムライン策定に向けた 紀宝町における取組み

CeMI 環境・防災研究所

タイムライン策定にむけた先行地域

◎三重県紀宝町

- ◆ 2011年の台風12号による被災地域。
- ◆ 昨年の台風27号でタイムラインを試行的に運用し、本格的な運用に向け検討を実施。
- ◆ 対象とする災害は、水害および土砂災害。

三重県紀宝町での取り組み(1)実施項目案

事項	時期	実施内容
事前調整	1月～2月	<ul style="list-style-type: none">・事前調整・台風第12号時に災害対応を行った職員へのアンケート調査 (防災行動を決める基礎調査)
第一回検討会	2月27日	<ul style="list-style-type: none">・タイムラインとは・台風12号災害の「ふりかえり」・タイムラインをどう活かす
第二回検討会	4月8日	<ul style="list-style-type: none">・話題提供「災害と情報～メディアの役割～」・行動のトリガーとなる気象現象・河川情報と読み解き方・台風時の防災行動項目の整理
第三回検討会	5月16日予定	<ul style="list-style-type: none">・防災行動事項と連携調整機関の検討・台風シナリオと防災行動の時間軸の設定
第四回検討会	6月中旬	<ul style="list-style-type: none">・タイムライン一次案の作成・改善と見直し
訓練・改善	7月下旬	<ul style="list-style-type: none">・タイムラインを活用した模擬訓練・改善事項の共有・試行版の完成
運用	9月以降	出水期における試行的運用および改善

三重県紀宝町での取り組み(2)参加機関

分類	機関名・職名
構成機関 (委員)	<p>紀宝町役場(特別参与、総務担当理事兼総務課長、政策担当理事、理事兼議会事務局長、会計管理者兼出納室長、税務住民課長、福祉課長、地域包括支援センター長、健康づくり推進課長、産業建設課長、環境衛生課長、企画調整課長、教育課長)</p> <p>紀宝町校長会長、紀宝町社会福祉協議会、紀宝町自主防災組織連絡協議会、紀宝町消防団、紀宝町区長会、紀南医師会、三重県紀宝警察署、熊野市消防署紀宝分署</p> <p>関西電力株式会社 和歌山支店 新宮営業所</p> <p>電源開発株式会社 西日本支店 十津川電力所</p> <p>電源開発株式会社 西日本支店 北山川電力所</p> <p>国土交通省近畿地方整備局 紀南河川国道事務所</p> <p>国土交通省中部地方整備局 紀勢国道事務所</p> <p>津地方気象台</p> <p>三重県(紀南地域活性化局、熊野建設事務所、熊野農林事務所)</p>
座長	松尾一郎 CeMI 環境・防災研究所 副所長
事務局	紀宝町役場 総務課(防災対策)
アドバイザー	<p>山崎 登 NHK解説委員室 解説主幹</p> <p>中村 則之 環境防災総合研究機構 上席研究員</p>

三重県紀宝町での取り組み(3)実施概要

第一回検討会(2月27日)

- タイムラインの概要および、検討会の進め方について説明を行った。
- 参加する機関を機能ごとに、「本部」「町民対応」「社会基盤・維持」「コミュニティ支援」「防災情報」「危機管理」の6テーブルに分け、2011年の紀伊半島大水害時の対応について『ふりかえり』を実施し、防災対応行動を整理した。



第二回検討会(4月8日)

- アドバイザーであるNHK解説主幹山崎登氏より、災害時のメディアの役割および行政機関に求められるメディア対応について、話題提供をした。
- 参加機関である、「津地方気象台」「紀南河川国道事務所」「電源開発(株)」より、防災行動のトリガーとなる防災情報の解説および、その現状について解説をした。
- 整理した防災行動をどの機関が行い、どの位の時間必要か、各機関が記入し整理する作業用資料を提示し、持ち帰って頂いた。

